

観光の視点で見た都市間比較と観光振興策に関する研究

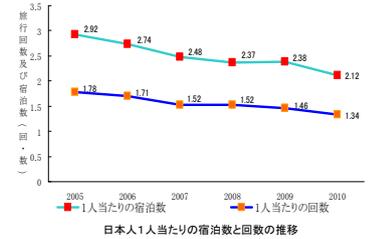
～福岡市と広島市を対象として～

福岡大学工学部社会デザイン工学科 辰巳 浩, 堤 香代子, 安在 博亮

研究の背景と目的

2006年12月に「観光立国推進基本法」が成立し、2007年6月の「観光立国推進基本計画」の間議決定等、「観光立国の実現」が今後の日本の経済社会の発展の課題となっている。しかし、日本国内の宿泊観光旅行の回数及び宿泊者数は2005年をピークに年々減少している。観光立国を実現するためには、地域ごとの観光資源を生かした取り組みが重要である。福岡市は九州最大の都市で、空港や駅からのアクセスが非常に良く、商業の町として大きく発展している。また、中国からの大型クルーズ船が寄港するなどアジア各地から多くの観光客が訪れる都市であるが、現在、訪れた観光客は福岡市には留まらず、別の観光地へと流れる傾向になっている。また、福岡市は商業施設が多くある中で、観光についての施設には発展の余地があると思われる。

そこで、福岡市内の観光施設の整備を行うことは、多くの観光客の足を福岡にとどめ、福岡市のさらなる発展につながると考えられる。福岡市の現状を把握し、問題点・改善点を抽出することが重要であり、福岡市と他の都市を観光の視点で比較することで現状を把握し、今後の課題を見つけることを目的とする。



福岡市・広島市の概要



キャナルシティ博多(出典:キャナルシティ博多HP)

福岡県の県庁所在地であり、政令指定都市に指定されている。黒田藩の城下町として古くからアジアの貿易の拠点として栄えてきた商人の町・博多からなる。人口は年々増加し、140万人を超える九州最大の都市である。主要地域拠点空港である福岡空港や特定重要港湾に指定されている博多港をはじめ、天神や博多駅を中心に県外の各地と結びついている新幹線やJR各線、市営地下鉄、西日本鉄道などの鉄道網、九州縦貫自動車道や都市高速道路などの道路網が整備されアクセスが非常に良く、多くの人が訪れる。歴史、祭り、グルメ等の観光資源を享受し、特に、商業はキャナルシティ博多やホークスタウン、マリノアシティ福岡など施設が豊富にそろっている。

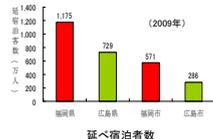
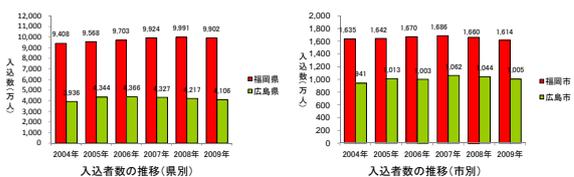


原爆ドーム(出典:広島市HP)

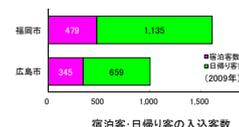
広島県の県庁所在地であり、政令指定都市に指定されている。江戸時代に、広島藩の城下町として藩主浅野氏のもとで発展したが、始まりは1589年に戦国大名の毛利輝元が広島城建設したこととされている。人口は110万人を超えて中国地方最大の都市である。また、世界史上初めて核兵器によって爆撃された都市として、世界的に知名度が高い。中区にある原爆ドームは世界文化遺産に登録されている。公共交通では、広島駅を中心とした新幹線やJR各線、広島電鉄が運行しており、紙屋町を中心とした市内中心部を走る路面電車、本通より市の北部に向かって運行している新交通システムのアストラムラインがある。また、山陽自動車道や市を走る広島高速道路が整備されてきている。

観光統計データの比較・分析

福岡市と広島市の観光の現状を比較するために、入込数、延べ宿泊者数、宿泊目的別宿泊者数、宿泊客・日帰り客の入込数、宿泊施設タイプ別宿泊者数で比較・検討する。



延べ宿泊者数は福岡県は広島県の1.6倍、福岡市は広島市の約2倍と、県と市ともに福岡が広島よりも多い。

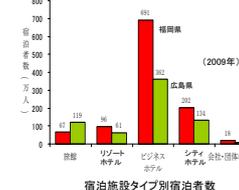


日帰り客の入込数は福岡市が広島市の約1.7倍多く、宿泊客数は福岡市が広島市の1.4倍多い。

入込数を県別で比較すると福岡県が約9,900万人強、広島県が4,100万人強で、福岡県が広島県より約2.4倍多い。市別では福岡市は1,600万人強、広島市は1,000万人強で、約1.6倍多い。また、この入込者は過去5年ほどは大きな変化がなく推移しており、福岡は県も市も広島のそれを上回っている。



観光目的の宿泊者が50%以上の施設では宿泊者に差が無いが、50%未満の施設では大きく差が現れ、福岡県が広島県の1.8倍も多い922万人である。



宿泊施設タイプ別では、両県ともにビジネスホテルが多く、特に、福岡県は顕著である。また、福岡県・広島県ともに旅館やリゾートホテルの宿泊者は少ない。福岡県・広島県ともに仕事関係の宿泊が多いことが考えられる。

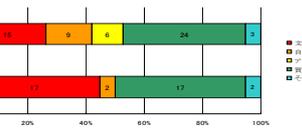
観光資源の比較分析

旅行ガイドブック「楽楽」をもとに福岡市と広島市の観光資源の評価と比較を行った。

1. 「楽楽」に記載されている施設の種類

両市はそれぞれに観光の強みが違い、福岡市は商業施設を中心とした観光資源、広島市は文化・歴史などに関連した観光資源を強みとし、それぞれの近郊の市町村と協力してモデルルートを作成していると考えられる。今回参考にした楽楽には福岡市は、大丸、三越、岩田屋といった歴史あるデパートが比較的大きく取り上げられている。一方、広島市の商業施設は多く紹介されているものの、取り上げられ方は一つ一つが小さく、福岡市に比べて商業施設のページ数も少ない。

県	文化	自然	アムーズメント	買い物	その他
福岡市	15	9	6	24	3
広島市	17	2	0	17	2



観光施設	モデルルート	楽楽での取り上げ方	観光施設の強み
福岡市	大丸	○	◎
	キャナルシティ博多	○	◎
広島市	平和記念資料館	○	◎
	広島県立美術館	○	◎
	福徳園	○	◎

文化・歴史施設は、福岡市は広島市とほぼ同数紹介されているが、評価の高い施設は存在しない。

2. 類似した観光施設の分析

広島市で評価が高い観光施設は広島市の観光資源の強みとなっている。そこで、広島市の強みとなっている観光資源と類似したものが福岡市にも有るかを検討し、観光分析を行った。その結果、福岡県・広島城、楽水園・縮景園が類似していると考えられる。

福岡市	広島市	施設の種類	モデルルート	楽楽での取り上げ方	観光施設の強み
福岡城	広島城	福岡藩・広島藩主のお城	○	△	◎
楽水園	縮景園	福徳園・縮景園の庭園である	×	○	◎

福岡城と広島城を比較すると、福岡城は天守閣が現存しておらず、城としての存在感が薄く、広島城に比べて知名度が劣っている。また、広島城はNHKの大河ドラマ「毛利元就」が1997年に放送されるなど、歴史上の功績の違いが挙げられる。

楽水園と縮景園を比較すると、楽水園は1906年、縮景園は1620年と歴史の古さに違いがあり、楽水園は知名度もはるかに劣っている。また、建てた人物が楽水園は商人の下澤善右衛門親正に対し、縮景園は戦国武将の浅野長晟で、浅野氏は全国的に知名度が高い。

3. 考察

両市は観光の強みが違い、福岡市は商業施設を中心とした観光資源、広島市は文化・歴史などに関連した観光資源を強みとしている。その中で「楽楽」は福岡市は老舗デパートの特集、広島市は原爆投下に関連する特集が組まれていた。

福岡市・広島市を比較した結果、歴史・文化に分類される観光施設において福岡市は広島市よりも観光資源が劣っている。この理由として、福岡市に存在している施設が日本の歴史において大きな役割を果たしていないことや、福岡市の歴史の知名度の低さと考えられる。広島市の歴史・文化施設は安土桃山時代から江戸時代にかけての戦国時代や、第2次世界大戦の原子爆弾の投下など日本の歴史上で大きな出来事を伝える施設が多く、福岡市の施設との知名度の差は歴然としている。

そこで、福岡市の今後の対策は、フィルムコミッションのPR活動を行うことが挙げられる。

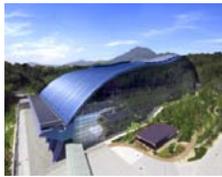
福岡市の今後の課題

1. 近郊の資源との連携

福岡市は歴史・文化にまつわる観光施設がとても乏しいことが分かった。今後は近郊の都市と協力して歴史面の観光施設を補うことが挙げられる。近郊の地域としてガイドブック「楽楽」を基に、福岡市近郊を「太宰府」「門司港・下関」「小倉」「秋月」「柳川」「吉岐」「唐津・有田・伊万里」「吉野ヶ里」、広島市近郊を「宮島・岩国」「尾道・しまなみ海道」「倉敷・岡山」を取り上げる。



太宰府天満宮 (出典:太宰府市HP)



唐津城 (出典:唐津市HP)



九州国立博物館 (出典:九州国立博物館HP)

2. 観光振興の核となる人物を育てる

観光カリスマとは国土交通省が観光振興を成功に導いた人物を「観光カリスマ」として選定した人物のことである。福岡市も広島市も観光カリスマが存在しない。一方、広島県には2名観光カリスマに認定されているが、福岡県には観光カリスマに認定された人物は存在していない。

そこで、福岡市は観光振興の核となる人物を育てることも課題である。

名前	所在地	カリスマ名称
平田 克明	広島県三木市	四季を通じて多角的な観光資源を展開する農村交流のカリスマ
松浦 直秀	広島県呉市	瀬戸内海の古代の雄づくしを解明した「瀬戸のカリスマ」

評価の高い近郊の観光施設

市	観光施設	モデルルート	楽楽での取り上げ方	観光施設の強み
福岡市	大宰府天満宮	○	○	◎
	九州国立博物館	○	○	◎
	呼子の朝市	○	○	◎
	虹の松原	○	○	◎
広島市	唐津城	○	○	◎
	厳島神社	○	○	◎
	大和ミュージアム	○	○	◎
	福徳園	○	○	◎
	大原美術館	○	○	◎
	香取アーツセンター	○	○	◎

近郊の文化・歴史施設は観光の強みであり、福岡市には近郊都市との連携が求められる。